学術変革領域研究（A）「グローバル南極学：大変化する氷床と地球環境の連鎖をつなぐ」
南極　春の学校 2027　募集要項

学術変革領域研究（A）「グローバル南極学：大変化する氷床と地球環境の連鎖をつなぐ」（領域代表者：北海道大学低温科学研究所 青木茂）では、南極の環境研究に関心を持ち、本領域の将来を担うとともに、国際的・学際的な研究を推進できる若手研究者の育成を目的として、全国の大学 3・4 年生、高等専門学校専攻科生および大学院生を対象とした「春の学校」を下記のとおり開催いたします。

1. 日時

2027 年 3 月 8 日(月)13:00～3 月 10 日(水)12:20 頃

2. 会場

国立極地研究所　多目的会議室（隊員事務室）

3. 参加費用など

【参加費無料】

参加費は無料です。

【食事無料】

１日目夕食、２日目昼食・夕食を主催側から会場にて提供します。

【交通費支給】

北海道大学旅費規程に基づき、所属先所在地から会場までの行程が 8km 以上の場合を出張扱いとし、所属先所在地の主要駅から立川駅までの往復交通費を支給します。

交通費は一旦本人が立て替え、後日、本人指定口座へ振込みとなります。

空路で移動する距離の場合でも、事務局からの連絡前に航空券を購入しないでください。

【宿泊費不支給】

宿泊費は自己負担ですが、旅行計画把握のため宿泊先名称を事務局よりお伺いします。

注：参加確定した方に事務局から連絡をしますので、航空券手配はその後に行ってください。

4. 対象

大学生（３年生以上）・高専専攻科生・大学院生

注：学部 3・4 年生は、学部生の本務である授業に支障が無いことを確認します。本籍の指導教員または担任より参加許可をとり、参加申込書に教員の署名捺印を貰ってください。

5. 募集人数

最大 30 名（応募者多数の場合、選考することがあります。）

6. 申し込み期限

2026 年 11 月 30 日(月)17：00

7. 申し込み方法

参加申込書に必要事項を記載の上、下記までメールにてご提出下さい。

8. 特記事項

交通費支給を必要としない参加希望者は、参加申込書「交通費」欄において、該当する「支給不要」の項目に〇を付してください。

9. 参加申込書の送り先、および問い合わせ先

北海道大学低温科学研究所内　グローバル南極学事務局（glaces-school2027@lowtem.hokudai.ac.jp）

10. 当日スケジュール（予定）

＊一日目（3/8 月）

10:00：極地研 3F 講義室・多目的会議室オープン

13:00：受付開始（多目的会議室）

13:30～17:00：講義

17:10～17:30：机など懇親会セッティング

17:30～20:30：ナイトセッション兼情報交換会（多目的会議室もしくは 3F セミナー室）

20:30～21:00：後片付け

＊二日目（3/9 火）

8:50：受付開始（多目的会議室）

09:00～12:10：講義

12:10～13:30：昼食（主催者側で用意）

13:30～17:30：講義、極地研ツアー（低温室，堆積物ラボ，科学館見学）

17:30～20:30：ナイトセッション兼情報交換会（多目的会議室もしくは 3F セミナー室）

20:30～21:00：後片付け

＊三日目（3/10 水）

08:50：参加者受付開始（多目的会議室）

09:00～12:10：講義

12:10～12：20：主催者から総括（10 分）

12：20：解散

11. 講師と講義内容（予定）

「南極氷床を融かす海：極限の現場観測から迫る氷と海の相互作用」平野大輔（北海道大学）

「南大洋における物質循環研究」真壁竜介（国立極地研究所）

「南極氷床の変動」杉山慎（北海道大学）

「AUV MONACA の南極運用と技術開発」下野宗司（東京大学）

「南極の過去から探る氷床融解・海面上昇・気候変動」菅沼悠介（国立極地研究所）

「極域のアイスコアで探る過去の地球環境変動」大藪幾美（国立極地研究所）

「数値モデルで探る海と気候」小林英貴（富山大学）